

## 2009年秋トカラ列島口之島・諏訪瀬島・宝島のチョウ類

中峯 浩司\* ・ 守山 泰司\*\*

A recorded of the Butterfly species found on the Tokara-retto of Kuchino-shima and Suwanose-jima and Takara-jima, in the fall of 2009

Koji NAKAMINE\* ・ Taiji MORIYAMA\*\*

はじめに

タイワンツバメシジミ *Everes lacturnus* は環境省及び本県レッドリストで絶滅危惧 類に挙げられている希少種である。県本土各地のかつての生息地に本種が今も生息するのか、近年、県内の愛好家らによって調査が続けられているところであるが、トカラ列島においては2004年6月に昆虫保護条例が制定されたことにより調査が難しくなっている。こうした中、2007年秋に当館が行った調査ではトカラ列島中之島と平島で本種を確認することができた(中峯, 2008)。このうち平島は初記録となり、以前から記録のある中之島及び口之島を合わせてトカラ列島の3島で本種が記録されたことになる。

しかし、本種の生息条件として食草シバハギの群落にスキヤチガヤなどが混在すること、すなわち、幼虫の越冬場所の存在が重要視されてきたことから、生息地が放置されて食草の生育に適さなくなるといった心配とは逆に、過度の草刈りにより越冬場所が奪われ、消滅するという心配も加わった。これはトカラ列島においても同様と考えられ、現時点でのトカラ列島における本種の生息状況を把握することが急務となった。また、トカラ列島以南の本種は沖縄亜種 *ssp. rileyi* として扱われているようであるが、トカラ列島に産する本種がどちらの亜種に含まれるかを再検討するために標本資料を集める必要もある。

一方、シルビアシジミ *Zizina otis* は種子島以北に産する本土亜種 *o. emelina* とトカラ列島宝島を北限とする沖縄亜種 *o. riukuensis* の2亜種として扱われていたが、近年の研究で宝島以南のものはヒメシルビアシジミ *Zizina otis*、種子島以北のものはシルビアシジミ *Zizina emelina* とされた。また、前述した2007年秋の調査では平島においてヒメシルビアシジミを初確認し、宝島及び未発表記録のある口之島と合わせてトカラ列島の3島で本種が記録されたことになった

が、同時に行った中之島の調査では精査したにもかかわらず見つからなかった(中峯, 2008)。そして2008年10月になって、屋久島で初めて本種が発見され(久保田, 2009)、本種が分布北上傾向にあるのか、こちらもトカラ列島の各島の状況を早急に調べる必要が出てきた。

以上のことを踏まえ、当館の調査・研究の一環として2009年9~10月、トカラ列島口之島・諏訪瀬島・宝島の3島において、チョウ類の生息状況を調べたので報告する。報告の中では各島におけるこれまでのチョウ類の記録を整理してみた。なお、口之島における記録は守山が担当し、それ以外はすべて中峯が担当した。また、和名、学名及び種の配列は基本的に琉球列島産昆虫目録(東, 2002)に従った。

報告に先立ち、調査に便宜を図っていただいた十島村に厚くお礼申し上げる。

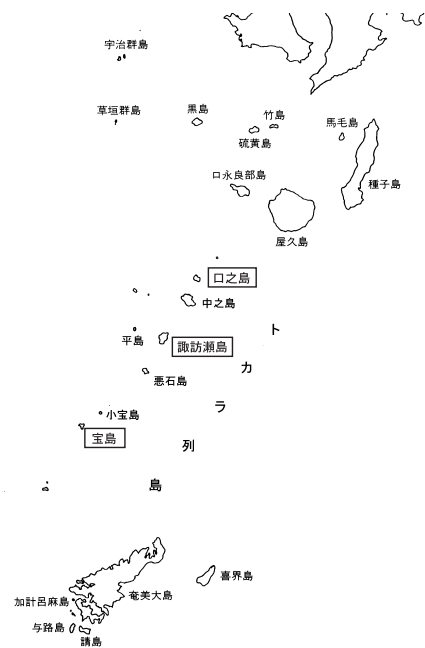


図1. トカラ列島位置図

\* 鹿児島県立博物館: 〒892-0853 鹿児島市城山町1-1

\*\* 〒890-0084 鹿児島市郡元町25-10-413

## I 口之島調査

### 1 調査日程

10月2日(金) 23:50 鹿児島発フェリーとしま

10月3日(土) 6:05 口之島着

口之島集落～セランマ温泉～西之島漁港～平瀬海水浴場～口之島集落

10月4日(日) 口之島集落～フリイ岳～前之浜～岩屋口～口之島集落, 西之浜漁港

14:15 口之島発フェリーとしま

20:30 鹿児島着

すべて徒歩で調査を行った。

### 2 調査者

守山泰司: 県立博物館外部協力者, 鹿児島昆虫同好会会員

### 3 調査結果 (\*は今回記録できなかった種)

#### セセリチョウ科 Hesperiidae

・クロセセリ *Notocrypta curvifascia*

10/3 1 ex目撃

他には見ていない。

・イチモンジセセリ *Parnara guttata*

10/3 1 1

各地に普通。

・チャバネセセリ *Pelopidas mathias*

10/3 1 1

各地に普通。

\*クロボシセセリ *Suastus gremius*

ビロウはフルイ岳の斜面に多数自生しており, 林道沿いにも少数見られた。そのほか植栽されたヤシ類も見られたが, 食痕も確認できなかった。

\*キマダラセセリ *Potanthus flavus*

今回, 確認したかった種のひとつでかなり入念に探索した。発生期と思われたが, 確認することはできなかった。

#### アゲハチョウ科 Papilionidae

・アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*

10/3 1 1

各地に普通。

・モンキアゲハ *Papilio helenus*

10/3 2

各地に普通。ハマセンダン, ランタナ, センダン, グサ類などの花を訪れていた。

・ナガサキアゲハ *Papilio memnon*

10/3 1

他には目撃しなかった。

・アゲハ *Papilio xuthus*

10/4 1

口之島初記録。他には目撃しなかった。

この他, アゲハチョウ科では, カラスアゲハ, シロオビアゲハ, クロアゲハの記録があるが確認できなかった。

#### シロチョウ科 Pieridae

・モンシロチョウ *Pieris rapae*

10/4 1

集落周辺で少数を確認した。

・キチョウ *Eurema mandarina*

10/3 2, 10/4 3

口之島初記録。多くはなかった。

・ツマグロキチョウ *Eurema laeta*

10/3 2, 10/4 1

口之島初記録。迷蝶? すべて秋型だが, 裏面の赤みはそれほど強くなかった。食草のカワラケツメイは確認できなかった。

\*ツマベニチョウ *Hebomoia glaucippe*

確認できなかった。集落内には幼木から大木までギョボクが少なからずあったが, 発生 of 痕跡も見られなかった。

#### シジミチョウ科 Lycaenidae

・クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

10/4 1 2

口之島初記録。迷蝶。集落内には食害されたソテツが見られた。

・ツバメシジミ *Everes argiades*

10/4 1 1

口之島初記録。迷蝶? 岩屋口の海岸近くの, シバハギ群落で採集した。付近にはヤハズソウも見られた。他では確認できなかった。

・ルリウラナミシジミ *Jamides bochus*

10/4 1 1

口之島初記録。迷蝶。この他に1頭目撃したのみ。花穂をつけたクズ群落は各地で見られたが, 卵も確認できなかった。

・ウラナミシジミ *Lampides boeticus*

10/3 1 1

クズ群落など, 各地に普通

・タイワンクロボシシジミ *Megisba malaya*

10/3 1, 10/4 1

口之島初記録。食樹のアカメガシワの周辺で少数確認できた。

・アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava*

10/3 1 2

モククヂバナのまわりに多数の個体が見られた。

・ムラサキツバメ *Narathura bazalus*

10/3 1

他に数頭目撃，初島（1986）によれば，食樹のマテバシイは口之島に分布している。北方？からの移動個体と考えるには時期的に早く，土着している可能性が高いと思われる。

・ヤマトシジミ本土亜種 *Zizeeria maha argia*

10/3 3 3 , 10/4 2 2

各地に普通に見られた。

・シルビアシジミ沖縄亜種 *Zizina otis riukuensis*

10/3 5 2 , 10/4 3 3

集落内の空き地，ヘリポート，グラウンド，海岸付近の荒地，牧場内などの各地のヤハズソウ群落で見られたが，どこでも個体数は多くなかった。7月以降，ほとんど降雨がなかったようで，その影響もあるかもしれない。1999年に本種を採集した西之浜漁港後背地の休耕田（未発表）は草丈の高い荒地へと遷移しており，発見することはできなかった。

\*イワカワシジミ *Artipe eryx*

結実したクチナシは各地に見られたが，食痕も確認できなかった。

\*タイワンツバメシジミ *Everes lacturnus*

食草のシバハギは路肩，牧場の周辺，海岸近くの荒地，休耕田など普通に見られた。蕾から若実までみられ，成虫の発生期と思われたが，確認することはできなかった。今シーズンは夏の少雨の影響が，各地でも発生数が少なかったようで，再調査を期待したい。

この他シジミチョウ科では，ルリシジミの記録があるが確認できなかった。

マダラチョウ科 *Danaidae*

・カバマダラ *Danaus chrysippus*

10/3 1

集落内でのみ少数確認した。

・リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis*

10/3 4

セラマ温泉付近の樹林帯では普通に見られた。ツルモウリンカに産卵中の個体も観察され，幼虫は確認できなかったが，比較的新しい食痕は多数見られた。

この他マダラチョウ科では，アサギマダラの記録があるが確認できなかった。

タテハチョウ科 *Nymphalidae*

・ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*

10/3 1

各地で普通に見られた。

・ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*

10/3 1

各地に普通

・イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas*

10/3 1

口之島初記録。他には見られなかった。

・ルリタテハトカラ列島～沖縄諸島亜種 *Kaniska canace ishima*

10/3 1 , 10/4 終齢1 ex .(サルトリイバラ類)

他に数頭目撃

・キタテハ *Polygonia c-aureum*

10/4 2

口之島初記録。迷蝶？ 2頭とも新鮮な秋型。岩屋口の海岸近くの荒地で，ランタナを訪花しているものを採集した。同じ場所で少なくともあと1頭を確認している。カナムグラは確認できなかった。初島（1986）でもカナムグラの記録はない。

・アカタテハ *Vanessa indica*

10/3 1

各地に普通。カラムシに卵～終齢幼虫が多数確認できた。

この他タテハチョウ科では，タテハモドキとアオタテハモドキの記録があるが確認できなかった。

ジャノメチョウ科 *Satyridae*

・ウスイロコノマチョウ *Melanitis leda*

10/4 1 (夏型)

他には確認できなかった。

## II 諏訪瀬島調査

### 1 調査日程

9月22日(火) 23:50 鹿児島港発「フェリーとしま」

9月23日(水) 9:50 諏訪瀬島港着

集落～元浦港～牧場～御岳登山道入口～集落～飛行場跡～夕見崎～集落

9月24日(木)

集落～飛行場跡～諏訪瀬港

10:35 諏訪瀬港発フェリーとしま

20:30 鹿児島着

すべて徒歩で調査を行った。

### 2 調査者

中峯浩司：県立博物館学芸主事

### 3 調査結果

セセリチョウ科 *Hesperiidae*

・イチモンジセセリ *Parnara guttata*

9/23 3 。各地に多い。

・チャバネセセリ *Pelopidas mathias*

9/23 1。薄暗い小道で採集した。少ないと思われる。

#### アゲハチョウ科 Papilionidae

・アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*

9/23 1。各地に普通。集落内にはタブノキの大木が数本あり、産卵行動を示すも目撃した。

・カラスアゲハトカラ亜種 *Papilio bianor tokaraensis*

9月23日に2，9月24日に1を目撃。3頭とも破損や擦れは少なく発生期に当たっているように感じたが、島内くまなく歩きまわったものの、3頭のみ目撃のみであった。

・モンキアゲハ *Papilio helenus*

9/23 1。他にも数頭目撃。

・ナガサキアゲハ *Papilio memnon*

9/23 1 目撃。他には見なかった。栽培ミカンがあったが、卵や幼虫は付いていなかった。

#### シロチョウ科 Pieridae

全く見かけなかった。

#### シジミチョウ科 Lycaenidae

・ルリシジミ *Celastrina argiolo*

9/24 2。少ない。

・クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

9/23 10 1。各地に多い。学校や集落内のソテツは軒並み食害されていた。新芽の伸び始めを食害されたものもある。幼虫は確認できなかった。鮮度は中破から新鮮なものまで様々。矮小個体もいた。低温季型の個体はいなかった。宿の主人の話では、3年前(2007年)から毎年食害を受けているという。

・ルリウラナミシジミ *Jamides bochus*

9/23 3，9/24 2 4。各地のクズ群落に見られたが、多いところと少ないところがある。クズの花は多く卵も確認できた。この後さらに数を増やしたのと思われる。

・ウラナミシジミ *Lampides boeticus*

9/23 1 1。クズ群落にふつうに見られた。

・ヤマトシジミ本土亜種 *Pseudozizeeria maha argia*

9/23 11 1。各地に普通。カタバミも多い。

\*タイワンツバメシジミ *Everes lacturnus*

集落内や飛行場近辺を探したが、見つからなかった。食草シバハギは飛行場の脇にチガヤやススキに混じって大きな群落がある(図3, 4)。チガヤ群落には草刈りの跡があり、そこに生えるシバハギは株が小さく、花は一輪も咲いていなかった。シバハギとススキがセットになった場所もあり、本種にとって好適な環境と思われるが、ここもやはり花が咲い

ていない。草刈りの無かったススキ群落の中でも花が咲いていないことから発生期にはまだ早かった可能性がある。

シバハギは他に集落内の淡水化施設の右を奥に進んだ道の真ん中と脇に少々あったが花は咲いておらず、また発生するには量が少なすぎた。西側の牧場付近にも数株あったが、ここでも発生するには量が足りない。

\*シルビアシジミ沖縄亜種 *Zizina otis riukuensis*

集落内や牧場方面、飛行場近辺を丁寧に探したが見つからなかった。メドハギの群落は集落内にあったが、ハイメドハギやヤハズソウ、ウマゴヤシのなかまは見かけなかった。

#### マダラチョウ科 Danaidae

・カバマダラ *Danaus chrysippus*

9/23 1 1。多い。

・リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis*

9/23 1 1。普通。集落内でちらほら見かける。24日は集落内のトウワタで吸蜜中の個体を目撃した。

\*アサギマダラ *Prantica sita*

全く見かけなかった。ちなみに、10月12日、喜界島ではこの年の秋、初めてのマーク虫7頭が捕獲されている。

#### タテハチョウ科 Nymphalidae

・ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*

9/23 1 1。各地に普通。スミレのなかまも多い。

・ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*

9/23 1。他には見なかった。

・アカタテハ *Vanessa indica*

9/23 1。各地に普通。カラムシへの産卵がみられた。

#### ジャノメチョウ科

・クロコノマチョウ *Melanitis phedima*

10/13 1 (秋型)。島内では全く見かけなかったが、宝島調査のためにフェリーとしまで航行中の10月13日、諏訪瀬島停泊時(9時15分頃)に船の外通路を飛ぶ本種を発見。ひさしの裏に止まったところを写真撮影した後、翅を指でつまんで捕らえた(図2)。いつの時点で船に飛来したのかは不明である。

### Ⅲ 宝島調査

#### 1 調査日程

10月12日(月)23:00 鹿児島発フェリーとしま

10月13日(火) 13:05 宝島着  
宿の車を借用。集落～イマキラ岳山頂～荒木崎  
～港周辺～鍾乳洞～大瀬崎～集落

10月14日(水) 7:15 宝島発フェリーとしま  
20:10 鹿児島着

## 2 調査者

中峯浩司：県立博物館学芸主事

## 3 調査結果(すべて10月13日の記録である)

### セセリチョウ科 Hesperidae

・イチモンジセセリ *Parnara guttata*

1。各地シロノセンダングサで吸蜜しているが、多いとは言えない。

・チャバネセセリ *Pelopidas mathias*

1頭目撃のみ。イマキラ岳山頂への道路沿いでシロノセンダングサに吸蜜に来ていた。

\*クロボシセセリ *Suastus gremius*

集落内にシンノウヤシの小木数本あるが巣などは見つからなかった。鍾乳洞入口付近でもクロツグとピロウで探したが見つからなかった。

### アゲハチョウ科 Papilionidae

・アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*

2頭。シロノセンダングサに普通に見られた。

・モンキアゲハ *Papilio helenus*

1。各地に普通。

・ナガサキアゲハ *Papilio memnon*

1。集落内に普通。

・ナミアゲハ *Papilio xuthus*

1。荒木崎入口。他にシロノセンダングサで吸蜜中を1頭目撃したのみ。

### シロチョウ科 Pieridae

・モンシロチョウ *Artogeia rapae*

1頭目撃のみ。港で船を下りた際に飛翔中を目撃した。

・キチョウ *Eurema hecabe*

1 1。集落から女神山に向かう途中、交尾中の飛翔個体を採集したのみで、他には見なかった。

・ツマベニチョウ *Hebomoia glaucippe*

1。学校近くのハイビスカスに7～8頭吸蜜に来ていた。他の場所でも見かけた。

### シジミチョウ科 Lycaenidae

・クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

5 2。診療所のソテツが食害を受けていた。幼虫は見当たらず、交尾個体が数組いた。集落以外の場所でも見られた。

・ルリウラナミシジミ *Jamides bochus*

2。クズ群落での飛翔を見かけるが、同年9

月23～24日の諏訪瀬島に比べると少ない。島内にクズは多く、花もたくさんあるのでこれから数が増えるのかも知れない。

・ウラナミシジミ *Lampides boeticus*

1。クズ群落に普通にみられた。

・アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava*

1。イマキラ岳の東で採集した。島内にはモクイチバナが多い。

・ヤマトシジミ沖縄亜種 *Pseudozizeeria maha okinawana*

4 2。各地に普通。カタバミも多い。

・シルビアシジミ沖縄亜種 *Zizina otis riukuensis*

8 2。荒木崎の牧場ではヤマトシジミとともに普通に見られた(図5, 6)。ここにはハイメドハギがあったが、卵や幼虫は探していない。また、大瀬崎の牧場でも1を採集した。ここでも、ハイメドハギを確認した。

\*タイワンツバメシジミ *Everes lacturnus*

食草シバハギは女神山から鍾乳洞へ行く途中の畑のあぜ道で数株を確認した。蕾～花～実まで付けていたが、本種が生息するには量的に少なすぎる。イマキラ岳山頂への道路脇や荒木崎、イマキラ岳東側、赤木崎方面、大瀬崎方面、鍾乳洞付近でも注意して見ていたが、これらの道路脇にはシバハギは無かった。集落周辺は詳しく調べていないが、学校の校門付近や大瀬崎方面への道沿いには生えていなかった。

### マダラチョウ科 Danaidae

・カバマダラ *Danaus chrysippus*

1頭目撃のみ。荒木崎入口で目撃した。調査中、トウワタには気づかなかった。大池にあるという群落(廣森, 2000)も、池の場所が分からず今もあるのかは確認できなかった。

・マルバネルリマダラ *Euploea eunice*

2。イマキラ岳東麓の道路沿いのシロノセンダングサに訪花。写真にも収めた。

・リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis*

1頭目撃のみ。イマキラ岳北麓の道路沿いで飛翔中を目撃した。

・アサギマダラ *Prantica sita*

1。イマキラ岳に登る道路沿いに咲くシロノセンダングサに30～40頭、イマキラ岳東麓の道路沿いでも30頭くらいシロノセンダングサに吸蜜に来ていた。時間が限られていたのでマークはしなかった。マーク虫も見つからなかった。

### タテハチョウ科 Nymphalidae

・ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*

目撃のみ。各地で見られたが、多くはない。

- ・ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*  
目撃のみ。各地に普通。シロノセンダングサでよく吸蜜していた。
  - ・ルリタテハ *Kaniska canace*  
目撃のみ。各地に普通。道路上から飛び出す個体が多かった。
  - ・アカタテハ *Vanessa indica*  
目撃のみ。各地に普通。
- ジャノメチョウ科 Satyridae  
全く見かけなかった。

#### IV まとめ

##### 1 各島におけるチョウ類の記録

各島におけるチョウ類の記録をまとめてみた(表1~3)。引用した文献は、当館の研究報告書、鹿児島昆虫同好会誌SATSUMA, 琉球列島産昆虫目録などであるが、SATSUMAの記録は主なものだけを取り上げた。また、県外にも重要文献があると思われるが、上記の文献でおおかた網羅していると思われる。なお、文献によっては採集・目撃の有無だけでなく具体的な数値を入れて、できるだけ島のチョウ類相を概観できるようにした。

表1. 口之島のチョウ類の記録

(初)口之島初記録, (\*)過去に未発表の記録あり

種名	調査年月日	1966	1967	1989	1998	琉球列島産 昆虫目録 (2002)	2004	2009
	報告者 報告年	3/17~23 上宮 1967	有村 1969	9/2 田中章 1991	10/9~12 廣森 1999		3/4~8 中峯 2005	10/3~4 中峯・守山 2010
1 クロセセリ					1頭目撃	○		○
2 イチモンジセセリ				1♂	1♂, 他多数目撃	○		○
3 チャバネセセリ				1♂	1♂, 他多数目撃	○		○
4 キマダラセセリ				1頭		○		
5 アオスジアゲハ			2♀, 比較的少ない		1頭目撃	○		○
6 カラスアゲハトカラ亜種						○		
7 モンキアゲハ	1♂目撃				1♀, 他多数目撃	○		○
8 ナガサキアゲハ	1♂目撃					○		○
9 シロオビアゲハ			1♂			○		
10 クロアゲハ本土亜種					○			
11 アゲハ								○(初)
12 モンシロチョウ	2♂他目撃				○	○	数頭目撃	○
13 キチョウ								○(初)
14 ツマグロキチョウ								○(初)
15 ツマベニチョウ			1♂1♀, 少ない		○	○		
16 ルリシジミ	1♀				○	○	数頭目撃	
17 クロマダラソテツシジミ								○(初)
18 ツバメシジミ								○(初)
19 タイワンツバメシジミ						○		
20 ルリウラナシジミ								○(初)
21 ウラナシジミ			1♀		1頭目撃	○		○
22 タイワンクロボシシジミ								○(初)
23 アマミウラナシジミ	○		1♂1♀	3♂	写真撮影	○		○
24 ムラサキツバメ						○		○
25 ヤマトシジミ本土亜種	6♂4♀			1♂1♀	1♀普通	○	数頭目撃	○
26 シルビアシジミ沖縄亜種								○(*)
27 カバマダラ			1♂1♀		2♀, 幼虫~成虫	○		○
28 リュウキュウアサギマダラ					○	○		○
29 アサギマダラ	1♀		1♂1♀, 多い		1頭マカ, 1頭目撃	○	卵・幼虫	
30 ツマグロヒョウモン	1♂2♀		2♂1♀		1♂1♀, 普通	○		○
31 ヒメアカタテハ			1♀, 10月~増える		1頭	○		○
32 イシガケチョウ								○(初)
33 タテハモドキ	1♀		2♀, 10~11月多い		1♂, 1頭目撃	○		
34 アオタテハモドキ			1♀					
35 ルリタテハトガ列島~沖縄諸島亜種	1♀, 3目撃		2頭, 秋に多い		普通	○		○
36 キタテハ								○(初)
37 アカタテハ	1♂2♀		2♀, 10月~増える	1頭	1♀, 各地	○		○
38 ウスイロコノマチョウ						○		○

表2. 諏訪瀬島のチョウ類の記録

(初) 諏訪瀬島初記録

	種名	調査年月日	1972 夏~秋	1973 7~8月	1977 5/17~18	1975~78	1980	1987 3/17~18	琉球列島 産	2009 9/22~23
		報告者 報告年	田中 1973	岩永・川西 1974	神園 1977	福田 1980	肥後 1981	守山 1988	昆虫目録 (2002)	中峯・守山 2010
1	イチモンジセセリ				少ない	○			○	○
2	チャバネセセリ					○	○	○	○	○
3	アオスジアゲハ					○			○	○
4	カラスアゲハトカラ亜種		○	○		○	○		○	○
5	モンキアゲハ			○		○	○		○	○
6	ナガサキアゲハ								○	○
7	シロオビアゲハ					○			○	
8	アゲハ				普通	○			○	
9	スジグロシロチョウ					○			○	
10	モンシロチョウ				普通	○	○	○	○	
11	ウスキシロチョウ						○		○	
12	モンキチョウ				少ない	○	○		○	
13	キチョウ					○			○	
14	ツマベニチョウ			○					○	
15	メスジロキチョウ								○	
16	ルリシジミ							○	○	○
17	クロマダラソテツシジミ									○ (初)
18	ルリウラナミシジミ									○ (初)
19	ウラナミシジミ					○			○	○
20	台湾クロボシシジミ								○	
21	アマミウラナミシジミ					○			○	
22	ムラサキツバメ		○			○			○	
23	ヤマトシジミ本土亜種			○	多い	○	○	○	○	○
24	カバマダラ		○		少ない	○	○		○	○
25	リュウキュウアサギマダラ		○	○		○			○	
26	アサギマダラ				少ない	○		○	○	
27	スジグロカバマダラ		○		少ない	○			○	
28	ツマグロヒョウモン				普通	○		○	○	○
29	ヒメアカタテハ				普通	○	○		○	○
30	イシガケチョウ		○						○	
31	リュウキュウムラサキ					○				
32	メスアカムラサキ								○	
33	タテハモドキ		○			○	○		○	
34	ルリタテハ(琉球列島~沖縄諸島亜種)					○			○	
35	アカタテハ				少ない	○	○		○	○
36	ウスイロコマチョウ					○			○	
37	クロコマチョウ									○ (初)



図2. フェリーとしまの船上で見つかった  
クロコマチョウ  
2009年10月13日9:45分頃, 諏訪瀬島寄港時

表3. 宝島のチョウ類の記録

(初)宝島初記録

	種名	調査年月日	1964	1966	1993	1994	1999	2000	琉球列島産	その他	2009
		報告者 報告年	7/13-22 嶋・他 1965・66	3/25-4/2 上宮 1967	10/19-22 黒江 1994	11/2-9 江平 1995	11/20-24 廣森 2000	6/27 廣森 2001	昆虫目録 (2002)		10/13 中峯・守山 2010
1	オキナワピロウドセセリ		目撃								
2	イチモンジセセリ				1頭	各地に普通	1頭		○		○
3	チャバネセセリ		1頭				1頭	1頭	○		○
4	アオスジアゲハ		20頭	少数目撃				目撃	○		○
5	カラスアゲハトカラ亜種									○**	
6	モンキアゲハ		9頭	普通, 3頭	1頭	各地に普通	多数, 1頭	目撃	○		○
7	キアゲハ									○**	
8	ナガサキアゲハ		36頭	普通, 2頭		1頭のみ		目撃	○		○
9	シロオビアゲハ		1頭						○		
10	クロアゲハ本土亜種		4頭								
11	アゲハ		27頭	3頭, 多数目				目撃	○		○
12	ナミエシロチョウ						1頭				
13	モンシロチョウ		1頭	4頭		1頭のみ	1頭のみ		○		○
14	ウスキシロチョウ		1頭						○		
15	モンキチョウ			4頭	1頭				○		
16	キチョウ		13頭	1頭目撃	1頭	普通, 2頭	多数, 4頭		○		○
17	ツマベニチョウ		17頭	2頭		12頭, 普通	数頭, 2頭	1頭	○		○
18	ルリシジミ								○		
19	クロマダラソテツシジミ										○(初)
20	オジロシジミ						1♀		○		
21	ルリウラナミシジミ										○(初)
22	ウラナミシジミ		2頭			1頭	3頭		○		○
23	アマミウラナミシジミ		3頭		2頭	1頭のみ	2頭	1頭	○		○
24	ムラサキツバメ					2頭	2頭		○		
25	ヤマトシジミ沖縄亜種		191頭	30頭	1頭	1頭, 普通	3頭		○		○
26	シルビアシジミ沖縄亜種		158頭						○		○
27	テングチョウ					多くない	1頭		○		
28	カバマダラ			1頭, 11目撃		多い, 2頭	多数, 3頭	目撃	○		○
29	マルバネリマダラ										○(初)
30	ツمامラサキマダラ						1頭, 1目撃	1頭			
31	ルリマダラ									○*	
32	オオゴマダラ									○**	
33	リュウキュウアサギマダラ					1頭のみ	2頭	1頭	○		○
34	アサギマダラ			2頭, 1目撃	4頭	普通, 4頭	多数, 5頭		○		○
35	スジグロカバマダラ								○		
36	ウスコモンマダラ								○		
37	コモンマダラ								○		
38	ツマグロヒョウモン		目撃	5頭			2頭	目撃	○		○
39	ウスイロネツタイヒョウモン								○		
40	ヒメアカタテハ				?頭	数頭目撃	1頭		○		○
41	イシガケチョウ		1頭								
42	リュウキュウムラサキ									○**	
43	メスアカムラサキ		1頭		1頭				○		
44	タテハモドキ		26頭	5頭			1頭目撃	目撃	○		
45	アオタテハモドキ									○**	
46	ルリタテハ(列島～沖縄諸島亜種)		37頭	5頭	3頭	各地に普通	各地, 2頭	2頭	○		○
47	キタテハ					1頭のみ					
48	アカタテハ			2頭	2頭	各地に普通	1頭	目撃			○
49	ウスイロコノマチョウ		2頭	1頭目撃					○		
50	クロコノマチョウ						1頭				

\*は廣森(2002)より引用, \*\*鹿児島県立博物館(1994)より引用



## 2 トカラ列島におけるタイワンツバメシジミの分布

2007年からの調査結果を表4にまとめた。口之島にはシバハギは多いものの生息を確認することはできなかった。過去の記録の詳細については分からない。今回は守山が精力的に探し、食草は多数生育していることを確認したものの、本種の生息を確認することはできなかった。再調査の必要がある。

中之島では高尾盆地にある運動場周辺を中心に近年は安定した発生を続けているものと思われる。しかし、今のところ半ば放置されていることにより好適な環境が維持されているが、さらに放置が続いたり逆に草刈りが徹底されると生息地が大きく失われる可能性が高い。

平島は1頭だけの確認であり、集落周辺の狭い範囲に食草は散在するものの量的に十分とは言えない状態である。

なお、中峯(2008)では、平島初記録となった本種のについて、飛び古した個体であったと報告したが、本当のところは羽化してから間もない個体であった。これは筆者の一人である中峯が、守山氏が捕獲し三角紙に収めていた個体をよく見なかったこと、県本土の発生時期よりかなり遅い時期である

という先入観があったため、古い個体と勘違いしたことが原因である。報告書の中で を と誤記したことも併せて、この場を借りて訂正し、お詫び申し上げます。

ところで、新鮮な が得られたことからすると、ちょうど発生時期に当たっていたと思われるが、他に本種は見つからなかったので再調査が望まれる。また、放棄田畑にあるシバハギはやがて植生遷移の進行とともに消滅する可能性が高く、幼虫の越冬場所としてのススキ群落が維持されるくらいの定期的な草刈りが行われることが望ましい。

諏訪瀬島では飛行場跡にシバハギの大群落を確認されたが、本種は見つからなかった。シバハギの花が咲いていなかったことから調査した時期が早すぎた可能性もあるので、再調査が必要である。

宝島には過去にも記録がなく、今回の調査でもシバハギ群落は見つからなかった。今後、牧場の縁などに群落が見つかる可能性はあるが、今のところ生息する可能性は低いと思われる。

初島(1986)によると、トカラ列島の各島にシバハギは分布するようであるが、未調査の悪石島と小宝島には本種は生息しないのだろうか。早い段階での調査が望まれる。

表4. トカラ列島の有人7島におけるタイワンツバメシジミと食草シバハギの分布

	口之島	中之島	平島	諏訪瀬島	悪石島	小宝島	宝島
タイワンツバメシジミ				×	?	?	×
食草シバハギ	多い	局所的	少ない	局所的	?	?	わずか

( : 確認 : 記録あり × : 未確認 ? : 未調査)

## 3 トカラ列島におけるシルビアシジミ沖縄亜種の分布

2007年からの調査結果を表5にまとめた。口之島では1999年の未発表記録以来、今回10年ぶりに本種を確認することができた。生息地ではヤハズソウが見つかったが、利用については未詳である。

中之島では、高尾盆地にある運動場にハイメドハギの群落があったが、本種を発見することはできなかった。

平島では2007年にヘリポートや支所の庭で本種を多数を確認し、東ノ浜付近でも1頭が得られた。生息地ではムラサキウマゴヤシを確認している。

諏訪瀬島ではメドハギの群落はあったが本種は見つからなかった。

古くから記録のある宝島では荒木崎と大瀬崎方面にある牧場内で本種を確認した。また、生息地にはハイメドハギが見られたが、利用については未詳である。集落内やその周辺では見つからなかった。

表5. トカラ列島の有人7島におけるシルビアシジミ沖縄亜種と食草の分布

	口之島	中之島	平島	諏訪瀬島	悪石島	小宝島	宝島
シルビアシジミ沖縄亜種		×		×	?	?	
生息地に生えるマメ科植物	ヤハズソウ	(ハイメドハギはあった)	ムラサキウマゴヤシ	(メドハギはあった)	?	?	ハイメドハギ

( : 確認 × : 未確認 ? : 未調査)



図3 シバハギを含むススキ群落（諏訪瀬島）



図4 ススキの間のシバハギ（諏訪瀬島）



図5 シルビアシジミ生息地（宝島，荒木崎）



図6 シルビアシジミ（宝島，荒木崎）

【引用文献】

上宮健吉（1967）トカラ列島（口之島，宝島）の蝶の記録．SATSUMA46：57-58．  
 有村用子（1969）トカラ列島口之島で採集した蝶類．SATSUMA52：114-116．  
 田中章（1991）1989年9月トカラ列島・口之島の蝶類とトンボ類．SATSUMA103：93．  
 田中洋（1973）佐藤憲司氏採集のトカラ列島の蝶類（1）．SATSUMA66：85-86．  
 岩永晶一・川西敏夫（1974）今西修氏採集の悪石島・諏訪瀬島（トカラ列島）の蝶．SATSUMA67：17-20．  
 神園香（1977）諏訪瀬島（トカラ列島）初夏の蝶類．SATSUMA75：161-162．  
 肥後昌幸（1981）トカラ列島諏訪瀬島の昆虫（1980年）．SATSUMA86：200-201．  
 守山泰司（1988）トカラ諏訪瀬島・3月の採集記録．SATSUMA99：16．  
 嶋洪・田中章・大我俊輔・上宮健吉（1965）トカラに虫を追って（1）．SATSUMA44：87-103．  
 嶋洪・田中章・大我俊輔・上宮健吉（1966）トカラ列島の昆虫採集報告（2）．SATSUMA45：11-19．  
 上宮健吉（1967）トカラ列島（口之島，宝島）の蝶の記録．SATSUMA46：57-58．  
 福田晴夫（1980）桐野秀信氏採集のトカラ諏訪瀬島のチョウ．SATSUMA81：141-143．  
 福田晴夫（1985）宝島自然環境調査報告書

黒江修一（1994）トカラ列島・宝島の動物資料収集記録．鹿児島県立博物館研究報告第13号：5-10．  
 江平憲治（1995）トカラ列島・宝島，11月の昆虫類．鹿児島県立博物館研究報告第14号：43-49．  
 廣森敏昭（1999）1998年10月口之島の昆虫類．鹿児島県立博物館研究報告第18号：5-10．  
 廣森敏昭（2000）1999年11月，トカラ列島宝島の昆虫類．鹿児島県立博物館研究報告第19号：53-60．  
 廣森敏昭（2001）トカラ列島宝島・小宝島，2000年6月の昆虫．鹿児島県立博物館研究報告第20号：49-54．  
 廣森敏昭（2002）沖縄県以外では初記録のルリマダラを宝島で採集．SATSUMA125：55．  
 久保田義則（2009）屋久島にヒメシルビアシジミがいた！．SATSUMA141：79-83．  
 中峯浩司（2005）トカラ列島口之島2004年3月の昆虫．鹿児島県立博物館研究報告第24号：46-51．  
 中峯浩司（2008）トカラ列島平島及び中之島の昆虫（2007年秋）．鹿児島県立博物館研究報告第27号：83-92．  
 東清二監修（2002）琉球列島産昆虫目録 増補改訂版．沖縄生物学会  
 鹿児島県立博物館（1994）鹿児島県産チョウ類分布表．鹿児島県立博物館創設40周年記念特別企画展「鹿児島と世界の大昆虫展」図録  
 初島住彦（1986）改訂鹿児島県植物目録．鹿児島県植物同好会